

## 令和5年度 地歴・公民科巡検研修会 報告書

1. 研修目標 「深い学びの実現に向けた地歴・公民科教育」
2. 研修目的

牧之原・御前崎の戦跡と地域振興政策に見る過去と現在のフィールドワーク

…原子力発電の現状を中心に

3. 参加者 社会科及び地歴・公民科教員等 18名
4. 実施日時 令和5年11月28日(火) 8:30～概ね17:00
5. 日程

8:30 JR藤枝駅南口集合

9:30～11:30 浜岡原子力館・発電所内見学(外周2時間コース)

…担当者から丁寧な案内・説明を受け、普通は見るできない施設を見学することもでき、参加者には最も好評であった。

11:45 御前崎レーダー・ドーム(御前崎分屯基地)バス内から見学

11:50～12:30 御前崎灯台

…強風のため登台できず灯台下からの見学となったのは残念。

13:40～14:20 御前崎港コンテナ・ターミナル

…担当者からの詳しい説明を受け、広大なターミナルの規模も実感することができた。

14:50 海軍大井航空隊跡をバス内から見学

…何気ない風景の中に埋没してしまっている戦争遺跡に気づかされた。

15:00～16:30 諏訪原城址ビジターセンターと旧東海道金谷坂石畳

…徳川と武田の最前線としての山城跡として三日月堀・丸馬出・横堀の遺構が良好な形で残っている様子を見て見学後、近くの旧東海道に向かう。日没が近づき足元が暗くなったので途中までとした。

17:00 JR金谷駅で解散

◎各研修地の「社会科分野」と「研修目的」

○公民分野

浜岡原子力発電所(原子力発電がかかえる課題を現場で学ぶ)

御前崎レーダー・ドーム(御前崎分屯基地にて国防の現状を学ぶ)

○歴史分野

御前崎灯台(灯台の地理的・歴史的意義について学ぶ)

海軍大井航空隊跡(県内の戦争遺跡を学ぶ)

諏訪原城址と旧東海道金谷坂石畳(戦国・江戸期の遺跡からこの地域の歴史的な重要度を学ぶ)

○地理・公民分野

御前崎港(国際コンテナ・ターミナルへの努力を学ぶ)

御前崎 海鮮なぶら市場(昼食)

○産業歴史分野

ふじのくに茶の都ミュージアム(明治以降の牧之原の茶産業の歴史を学ぶ)

## 6. 講評と反省

浜岡原子力発電所見学のような、特別に許可を必要とする内部施設での見聞は教育者として貴重な経験となるもので、この後の研修地選定の際の参考となった。

ただ、今回のコース全体は、地歴分野にも公民分野にも参考になるようにと考え、見学箇所を盛り過ぎたため、行程がタイトなものとなってしまった。原子力発電所の見学はでは、もっと時間をかけて見たかったとの声もあったので、今後の企画では午前・午後に1ヶ所ずつくらいに見学場所を絞り込むのが良いと思われる。

また、御前崎港が置かれた地理的特徴を俯瞰・実感するために寄る予定であった御前崎灯台が、強風のために登れなかったことなど、予定通りに計画が進まなかったこともあり、次回実施の際は次善の策をも用意した余裕のある計画・立案が必要であろう。